

I. はじめに

コップ・バントレス社は、2001年にエイビアン社を傘下に入れた時から従来のコップ種とエイビアン種との系統間の交配を続けてまいりました。

その結果、それぞれの特徴によって世界地域のニーズに適した種鶏を供給しております。

弊社も2007年より通称CobbMxと言われております種鶏（雌系統はコップ種、雄系統はエイビアン種）を導入しそれから生産されたブロイラー雛を野外試験した結果、種鶏の生産能力及びブロイラーの生産能力、処理場での歩留まり等のトータルメリットのある鶏種であると確信し、2009年1月より国産種鶏の販売を開始致しました。

今回の種鶏マニュアルの改訂では、雄系にエイビアン種を使用することにより受精率が大きく改善されましたので、特に雄の管理に重点を置きました。

本マニュアルを最大限に御活用戴きコップ種鶏の生産性向上と良質な雛生産の一助にして頂ければ幸いです。

2009年7月

株式会社 松阪ファーム